



トパ路道
～平成28年度採用～
建設部 管理課
高橋 彩希



～平成25年度採用～
建設部 公園緑地課
江田 誠

「生まれ育ったまち、愛する恵庭市に貢献したい」

－恵庭市を選んだ理由は？

土木系だとコンサルタント会社、ゼネコン、土木建設業者、公務員と大きく分かれると思いますが、私の性格上、なんでもやってみたい、いろんなことを体験したいと思い、設計から施工まで携われる公務員に憧れ、公務員を目指しました。また、公務員の中でも転勤があるような国家公務員等よりも、自分の生まれ育ったまちで働いてみたい！と思い恵庭市を選びました。

－どんな仕事をしていますか？

管理課で、主に道路管理業務を担当しています。市道で民間工事を行う際に必要となる、道路占用届を受け付ける業務や駅自由通路の管理、私有地から道路への越境物の指導等を行っています。

－やりがいを感じる時は？

市民や業者等様々な方から要望、相談を受けます。しかし、市の立場と業者の立場で考えることは違いますので、なかなかご希望に沿った回答や対応ができない場合があります。そのとき、お互いに歩み寄って話し合い、双方が納得する方向性を見出す事が出来た時に、やりがいを感じます。

－職場の雰囲気はどうか？

恵庭市では、土木技術職の20代が少なく、30代の方や40代前半の方が多くいますが、上司との間に入ってくれる先輩がいるので、とても働きやすい環境です。私も入庁時は、先輩方に現場に付き添っていただいたり、事務手続きを親切に教えていただきました。

－どのような職員を目指しているか？

自分の生まれ育ったまち、愛する恵庭市に貢献したいという思いを持ち、市民とともに魅力あるまちづくりを進めることができる職員。また、市民の皆さんが何を望んでいるのかを的確に把握し、市民の信頼に応える職員を目指したいです。

－恵庭市職員を目指す人へのメッセージ

札幌市と千歳市の間に位置しているため交通の便が良く、働く環境もいい恵庭市で、一緒に魅力あるまちづくりをしましょう！

「みんなが笑顔になれる、花や緑の空間づくり」

－恵庭市を選んだ理由は？

もともと地元が恵庭市で、電車で20分ほど乗れば、新千歳空港や札幌に行けるほど交通の便がすごくよかったです。

－どんな仕事をしていますか？

公園緑地課としての主な業務は、公園の再整備事業や公園施設の更新事業、指定管理者が行っている公園内点検や維持補修の業務管理など公園に関する業務を行っています。自分の主な仕事として、公園の再整備工事と公園遊具の更新工事を担当しています。その他にも街路樹や公園樹の枯損木の伐採業務や、老朽化した施設の更新、地域の町内会に協力してもらいながら実施している公園内の草刈りや植樹・植樹帯の除草の助成金事業など公園や緑地に関する業務などがあります。

－やりがいを感じる時は？

地域住民から寄せられる要望に応えたり、更新した遊具で子供たちが遊んでる姿を見ると、また頑張ろうという気持ちになります。

－職場の雰囲気はどうか？

土木技術職員は事務職に比べて職員数は多くありませんが、上司や先輩に仕事面・生活面で相談しやすい環境だと思います。

－どのような職員を目指しているか？

市民からの信頼を損ねることなく、これからの恵庭市がより良いまちになるよう邁進していきたいです。

－恵庭市職員を目指す人へのメッセージ

新千歳空港や札幌など道内どこへ行くにも交通の便が大変便利な立地で、身近に自然も感じられる魅力ある街である恵庭市に奉職すれば、まちづくりの計画から、公共工事の設計、施工監理、工事が完成してからの維持管理・補修と幅広い業務を上・下水道・道路・橋梁・公園などの色々な分野に携われ、幅広い知識や経験を積むことができますので、皆様と共に働けることを心よりお待ちしております。



～平成24年度採用～
建設部 土木課
北岡 嵩浩



～平成30年度採用～
水道部 上水道課
加藤 駿太郎

「あらゆる疑問に対応できるスペシャリストに」

－恵庭市を選んだ理由は？
学生時代に得た知識と経験を出身地である恵庭市で生かしたいと考えたからです。

－どんな仕事をしていますか？
道路改良・橋梁補修等に代表される、土木工事に係る設計や発注業務・施工監理業務を行っています。

－やりがいを感じる時は？
自分で発注した工事が完了した際、形に残る工事を行うことができた達成感を得ることができます。また、工事後の施設(道路・橋梁)を市民の方々に利用していただいた時・感謝の声を聴けた時、特に“やって良かった”と感じます。

－職場の雰囲気はどうか？
誰でも意見が言いやすい雰囲気があるため、問題が発生した際には組織全員で考え方を共有しながら仕事に一丸となって取り組むことができます。課内交流により、新入職員の方も溶け込みやすい環境です。

－どのような職員を目指しているか？
広い知識と経験をもって、市民からの事業に係るあらゆる疑問に対応できる職員を目指しています。組織内にも得た知識の共有、相談を適宜行い、ブラッシュアップし合うことで、さらなる市民へのサービスの向上を心がけています。

－恵庭市職員を目指す人へのメッセージ
市職員の業務の魅力として、“地域を良くする”という一つの目標に対して、住民の方とより近い目線で問題に取り組んでいける点が挙げられますが、恵庭市では“誰でも意見をしやすい”と前述したとおり、組織全体で共に仕事を行う姿勢を感じやすい職場です。明るい職場で共に地域を良くしていきましょう！

「当たり前前大切な ～市民の笑顔のために～」

－恵庭市を選んだ理由は？
ゼネコンに2年間勤め、道内各地の工事現場を転々と飛び回る仕事に漠然と不安を感じていました。恵庭市は学生のころに数回訪れた程度でしたが、職員募集を機会に足を運んでみると札幌からも近く、花と緑にあふれる街で、この街のインフラに携わりたいと思い受験しました。

－どんな仕事をしていますか？
市内の水道管を地震に強い「耐震管」にする工事の設計・積算や発注業務を行っています。また、漏水などの緊急事態には、速やかに修繕工事を発注し、対策を講じます。他にも一軒家から商業施設まで、様々な物件の水道の申請を確認したり、上・下水道管が問題なく繋がっているか、直接その建物を確認したりしています。「令和6年能登半島地震」では、支援活動として、石川県珠洲市・七尾市などで給水車による給水支援を行いました。時には海を渡って困っている人の手助けをします。

－やりがいを感じる時は？
市民に断水や濁水などの影響を与えずに工事を完成した時です。水道工事を行う際に水の流れを変えたり止めたりすると、断水や濁水を発生させてしまうことがあります。様々な可能性を考え、市民への悪影響を未然に防ぎ、ご意見やお問い合わせが無く工事を完了させたときは達成感を感じます。「当たり前前生活」を縁の下から守っているような気持ちになります。

－職場の雰囲気はどうか？
優しい先輩や上司の方が沢山いて話しやすいです。豊富な知識や経験を持っている方が多く、勉強になる話を沢山聞けます。

－どのような職員を目指しているか？
恵庭市の職員は定期的な人事異動を行っており、土木や水道、まちづくりに直接携わるような部署など、様々な部署に配属されます。配属先で広く知識を得て、どこの部署でもしっかり活躍できる職員になりたいです。

－恵庭市職員を目指す人へのメッセージ
みんな優しく働きのしやすい職場です。また、土木技術職員は多くの仲間を求めています。ぜひ、共に恵庭市を盛り上げて頑張りましょう！



～平成29年度採用～
水道部 下水道課
橋本 航海



～平成25年度採用～
企画振興部 まちづくり推進課
佐藤 翔

「やりがいを感じられる魅力的な職場」

－恵庭市を選んだ理由は？

恵庭市職員の募集をきっかけに何度か訪れ、豊かな自然環境と充実した都市機能を有し、札幌市や新千歳空港へのアクセスも抜群で暮らしやすいと思い、恵庭市を志望しました。

－どんな仕事をしていますか？

主に下水道工事の設計及び監督業務を行っており、近年増加する浸水被害や地震等の様々な災害を想定し業務を行っています。

－やりがいを感じる時は？

設計業務では、現場条件や維持管理の観点などを踏まえ、最適な施工方法を検討しながら設計を進めていくことが面白いと感じています。また、自分で設計した工事を監督し、完成した際の達成感は何とも言えないものがあります。

－職場の雰囲気はどうか？

周りに経験豊富な先輩方がたくさんいてサポートしてくれ、安心して業務に取り組めるので、自分自身のスキルアップにもつながり、やりがいも感じられる魅力的な職場です。

－どのような職員を目指しているか？

恵庭市職員は数年おきに部署異動があり、様々な知識が必要となることから、広く知識を得て、どこかの部署に配属されても活躍できる職員を目指しています。

－恵庭市職員を目指す人へのメッセージ

恵庭市の土木技術職員の業務は多岐にわたり、それぞれの部署で色々な知識・経験を積むことができます。異動の度に覚えることが多く、大変な面もありますが、優しい上司の方がたくさんいて話や相談がしやすい環境なので安心してください。皆さんと働けることを楽しみにしています。

「将来を見据えたまちづくりに携わる」

－恵庭市を選んだ理由は？

大学卒業後、東京のゼネコンで5年間土木工事の現場監督として働いていました。民間企業では、スケールの大きい工事に携われる反面、工事が完成したら必ず住み慣れた地域から離れなければなりません。将来を見据えたときに地元である恵庭市のまちづくりに長く携わってみたい、これまで現場で培った技術や経験を存分に活かしてみたいと思ったことがきっかけです。

－どんな仕事をしていますか？

主な仕事の内容は、建築物の建築または特定工作物の建設が目的で行う開発行為について、都市計画法の開発許可基準に適合しているかどうか審査する事務を行っています。その他、当課の仕事は都市計画に関する総合調整、土地利用、移住及び定住、建築確認申請業務を行っています。

「恵庭市移住・定住支援サイト」
まちのことを紹介しています!!



－やりがいを感じる時は？

将来を見据えたまちづくりの計画に携わることができて、まちづくりに関連する法律も広く学ぶことができることです。

－職場の雰囲気はどうか？

現在、まちづくり推進課には12名の職員が働いています。特色としては、土木職、建築職、事務職と異なる職種の方や民間企業を経験した職員も複数人在籍しているので色々な視点から話を聞くことができますし、何よりもみなさんユニークなので気軽に話せる職場環境です。

－どのような職員を目指しているか？

今後、人口急減・超高齢化の問題やAIなどの技術が発達する中で、仕事や地域の町内活動等を通じて、土木技術をベースにしながらその他分野の幅広い知識もきちんと使える職員になれるよう日々研鑽しています。

－恵庭市職員を目指す人へのメッセージ

今、土木現場では、インフラの維持管理・更新工事が増えています。事務作業の多さに戸惑いを感じることもあるかと思いますが、市民の生活に直結するインフラを支える仕事には使命感と責任感が伴うので、その分、やりがいを持つことができると思います。休日は、子どもと過ごす時間を大切にしながら、市役所のサッカー部で楽しくサッカーをしています。プライベートとのバランスがとりやすいのも魅力のひとつです。